



年 組 名前

## 道新のワークシート

## サイロや牛舎…「なつぞら」の世界



## 道の駅おとふけオープン

【音更】十勝管内音更町の道の駅おとふけが15日、道東自動車道音更帯広インターチェンジ南側にオープンした。愛称は「なつぞらのふる里」で、十勝が舞台となった2019年放映のNHK連続テレビ小説「なつぞら」の世界を再現した一角を設けた。

木造一部鉄骨平屋約2千平方メートル。九つある飲食店では、十勝産の食材を使ったオムライスやうどんなどを提供する。駐車場575台分を用意し、帯広と札幌、旭川などを結ぶ都市間バスが乗り入れる交通拠点の機能も担う。「なつぞらエリア」には、ロケセットを再現したサイロや牛舎も並ぶ。総事業費は約20億円。

(石井純太)

開業した道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」は15日、十勝管内音更町(井上浩明撮影)

2022年4月16日(土) 朝刊 全道版 30ページ (記事は再編集しています)

①地図帳で、音更(おとふけ)町の場所を探(さが)みましょう。また、道東自動車道がどこを通っているか見てみましょう。

②この道の駅の見どころはどんなところでしょう。( )に入る言葉を答えましょう。

( )産(さん)の食材(しょくざい)を使ったオムライスやうどんを提供(ていきょう)していること。

③この場所に道の駅をつくったのはどうしてでしょう。よさを考えてみましょう。